

大阪府工業指数2025年12月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…88.1 前月比▲0.3% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、窯業・土石製品工業など8業種が低下し、化学工業の1業種が横ばいとなり、金属製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業など5業種が上昇した。
品目別にみると、鉄道車両、化粧品等が低下した。
また、前年同月比(原指数)は、1.0%と6か月ぶりの上昇となった。

(2) 出荷指数…87.3 前月比▲2.9% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など9業種が低下し、金属製品工業、食料品工業など5業種が上昇した。
品目別にみると、鉄道車両、リチウムイオン蓄電池等が低下した。
また、前年同月比(原指数)は、▲1.7%と6か月連続の低下となった。

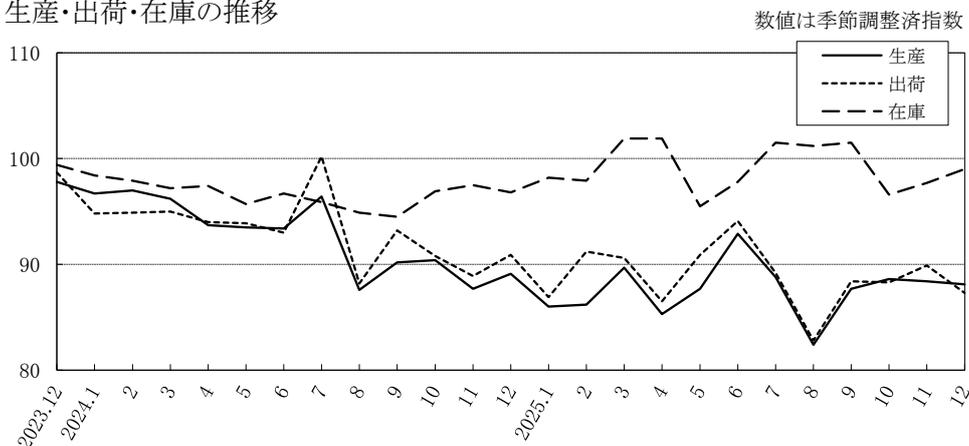
(3) 在庫指数…99.0 前月比1.3% 2か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、化学工業など5業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業など8業種が低下した。
品目別にみると、ショベル系掘削機械、軽油等が上昇した。
また、前年同月比(原指数)は、2.3%と2か月連続の上昇となった。

2020年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2025年 11月	88.4	▲0.2	87.1	▲3.2
	2025年 12月	88.1	▲0.3	92.6	1.0
出 荷	2025年 11月	89.9	1.8	88.0	▲3.2
	2025年 12月	87.3	▲2.9	93.1	▲1.7
在 庫	2025年 11月	97.7	1.1	96.9	0.2
	2025年 12月	99.0	1.3	97.4	2.3

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 ▲ 0.3% 上昇 5業種
 低下 8業種
 横ばい 1業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	0.867	10.4	橋りょう、電気溶接棒
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.202	1.8	普通鋼小形棒鋼、鋼半製品
	食料品工業	0.174	1.8	ウイスキー、飲用牛乳
	電気・情報通信機械工業	0.065	0.9	リチウムイオン蓄電池、LED器具(除、自動車用)
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.048	2.8	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			
横ばい	化学工業	0.000	0.0	—
低下	輸送機械工業	▲ 0.373	▲ 6.9	鉄道車両、シャシー・車体部品
	窯業・土石製品工業	▲ 0.172	▲ 11.8	生コンクリート、ファインセラミックス(構造材)
	その他工業	▲ 0.134	▲ 2.0	不織布、木製家具
	プラスチック製品工業	▲ 0.058	▲ 1.7	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製日用品・雑貨
	生産用機械工業	▲ 0.050	▲ 0.4	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.037	▲ 0.4	ポンプ、冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
	石油・石炭製品工業	▲ 0.035	▲ 0.6	ジェット燃料油、ナフサ
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.021	▲ 3.3	固定コンデンサ
その他の低下した品目				化粧品【化学工業】、医薬品【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	橋りょう	金属製品工業
	2	合成アセトン	化学工業
	3	フェノール	化学工業
	4	一般用パルプ・コック	汎用・業務用機械工業
	5	ウイスキー	食料品工業
	6	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	7	精製・混合原料油	石油・石炭製品工業
	8	灯油	石油・石炭製品工業
	9	ガソリン	石油・石炭製品工業
	10	アンモニア	化学工業
低下	1	鉄道車両	輸送機械工業
	2	化粧品	化学工業
	3	医薬品	化学工業
	4	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	5	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	6	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	7	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	8	ジェット燃料油	石油・石炭製品工業
	9	化学機械	生産用機械工業
	10	スチール製缶	金属製品工業

(2)出荷 前月比 ▲ 2.9% 上昇 5 業種
 低下 9 業種
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	0.952	10.8	橋りょう、鉄塔
	食料品工業	0.288	2.9	ウイスキー、ハム・ソーセージ
	汎用・業務用機械工業	0.042	0.5	一般用バルブ・コック、チリングユニット
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.042	2.7	紙器用板紙
	電子部品・デバイス工業	0.009	2.1	電子回路基板
	その他の上昇した品目			
低下	電気・情報通信機械工業	▲ 1.342	▲ 19.4	リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.320	▲ 2.4	特殊鋼冷間仕上鋼材、 特殊鋼熱間圧延鋼材
	化学工業	▲ 0.318	▲ 2.3	化粧品、医薬品
	その他工業	▲ 0.271	▲ 4.6	ゴムベルト、タフテッドカーペット
	生産用機械工業	▲ 0.253	▲ 2.7	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	石油・石炭製品工業	▲ 0.216	▲ 2.5	軽油、ジェット燃料油
	プラスチック製品工業	▲ 0.190	▲ 4.1	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製機械器具部品
	輸送機械工業	▲ 0.157	▲ 2.5	鉄道車両、シャシー・車体部品
	窯業・土石製品工業	▲ 0.050	▲ 4.6	生コンクリート、 ファインセラミックス(構造材)
その他の低下した品目				ポンプ【汎用・業務用機械工業】、 スチール製缶【金属製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 1.3% 上昇 5 業種
 低下 8 業種
 横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	0.906	10.8	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	化学工業	0.605	4.4	ビスフェノールA、合成アセトン
	石油・石炭製品工業	0.602	19.8	軽油、重油
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.371	1.5	普通鋼小形棒鋼、普通鋼鋼帯
	金属製品工業	0.066	0.7	産業用アルミニウム製品、作業工具
	その他の上昇した品目			
低下	電気・情報通信機械工業	▲ 0.207	▲ 1.7	電気マッサージ器具、 LED器具(除.自動車用)
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.202	▲ 2.4	汎用内燃機関、パッケージ形エアコン
	輸送機械工業	▲ 0.187	▲ 14.1	電動アシスト自転車
	プラスチック製品工業	▲ 0.131	▲ 3.2	プラスチック製パイプ、 プラスチック製フィルム・シート
	その他工業	▲ 0.054	▲ 0.9	医療・衛生用ゴム製品、毛糸
	窯業・土石製品工業	▲ 0.039	▲ 5.0	ファインセラミックス(構造材)、 せっこうボード
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.008	▲ 0.7	紙器用板紙
	食料品工業	▲ 0.005	▲ 0.1	清涼飲料(除.炭酸飲料)
その他の低下した品目				ふっ素樹脂【化学工業】、 合成洗剤【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2020年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



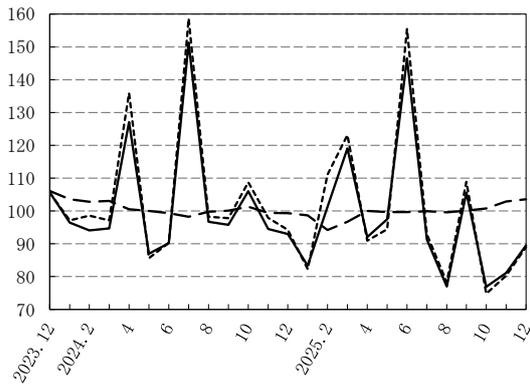
鉄鋼・非鉄金属工業



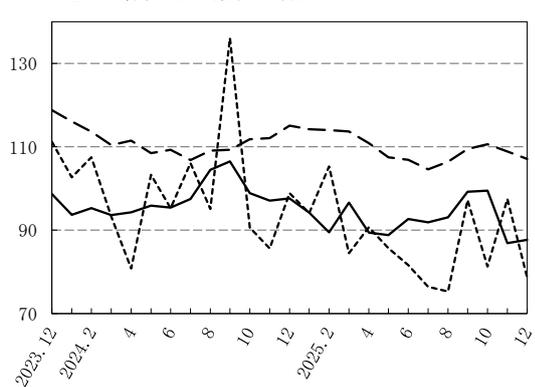
電子部品・デバイス工業



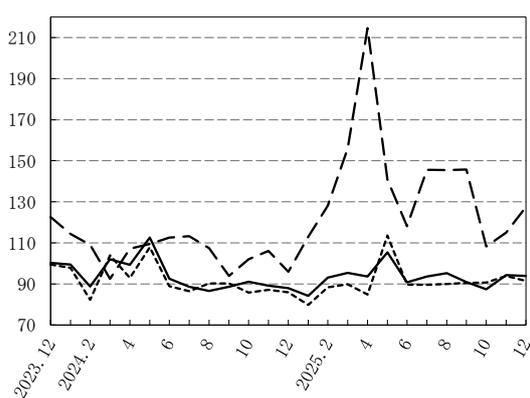
金属製品工業



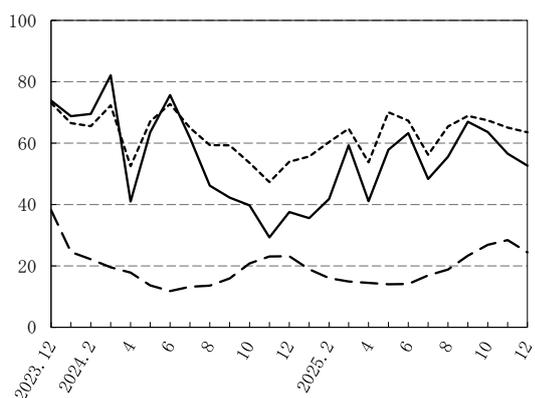
電気・情報通信機械工業

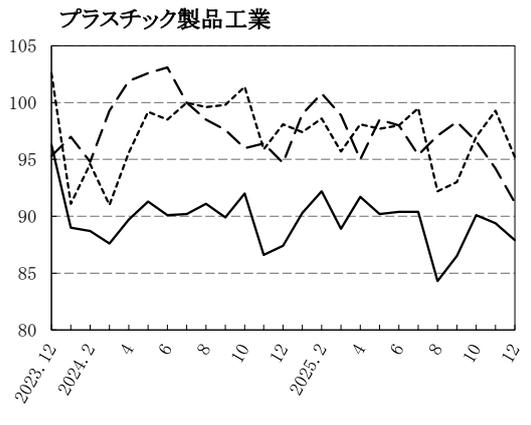
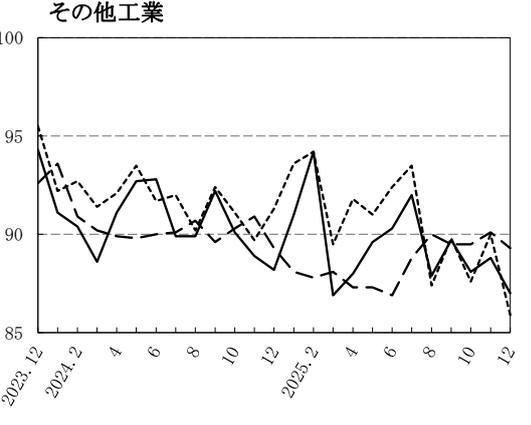
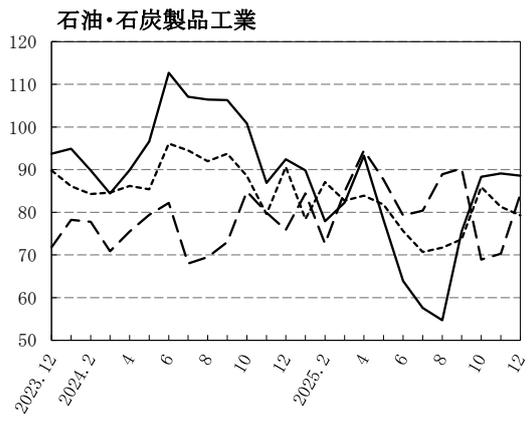
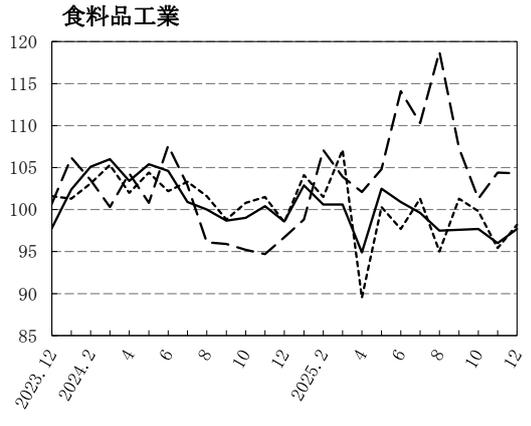
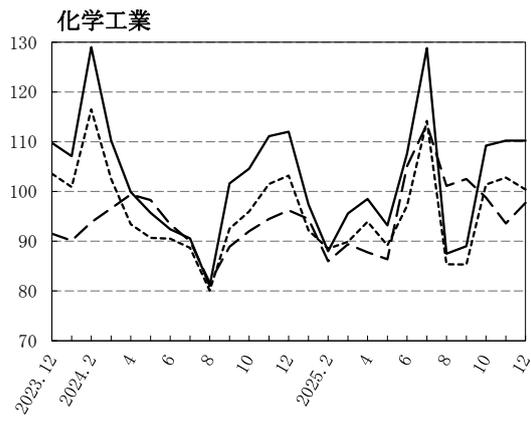
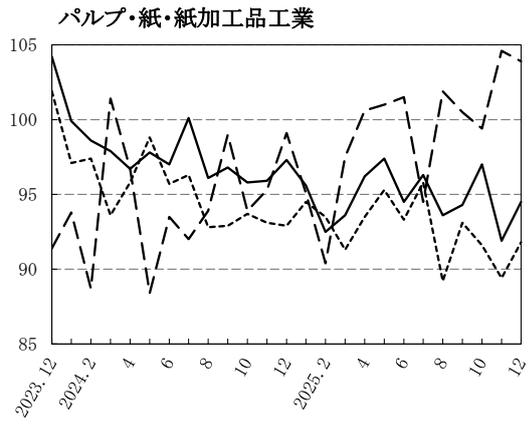
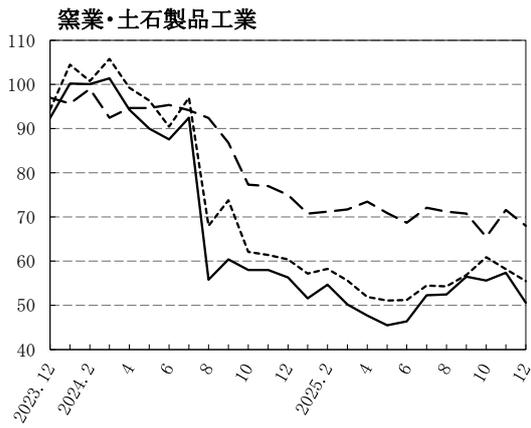


生産用機械工業



輸送機械工業





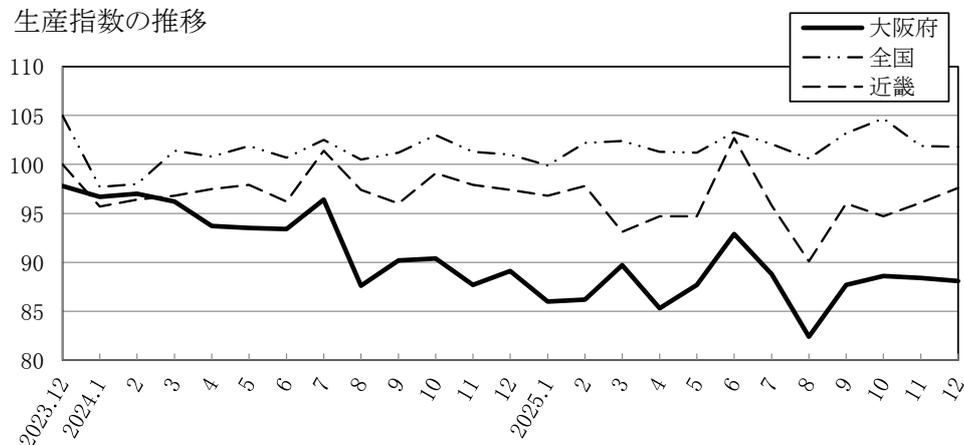
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	88.1	▲0.3	101.8	▲0.1	97.6	1.6
出荷	87.3	▲2.9	98.9	▲1.7	96.1	▲1.2
在庫	99.0	1.3	98.3	1.0	104.2	▲1.1

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数とといいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)